

2023年9月19日  
公益財団法人イオン環境財団

## 9月23日(土)「石巻復興の森植樹祭2023」を実施

### 緑あふれる沿岸部の再生を目指して5,000本を植樹

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役会長）は9月23日（土・秋分の日）、「石巻復興の森植樹祭2023」を実施します。

植樹地となる「石巻南浜津波復興祈念公園」は、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市南浜地区に、犠牲者への追悼、震災の記憶と教訓の後世への伝承、多様な主体の参画・協働の場を構築すること等を目的に、国、宮城県、石巻市が一体で整備した公園です。

同公園整備地区内で2017年から開始された「復興の森植樹祭」へ「イオン 心つなぐプロジェクト」が、初回より参画しています。

当財団は2019年から参加し、災害から地域を守る海岸防災林と、学習体験もできる森づくりを目指して、2028年まで10年にわたり植樹・育樹活動を継続する計画です。これまでに1,400名以上が参加し、30,000本以上を植樹しました。

本植樹祭では、地域ボランティア500名がアカマツ・ヤマツツジ・ヤマハギ・ムラサキシキブなど16種5,000本を植樹いたします。尚、石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会と共に、12月までに追加で5,000本の植樹を行い、本年合計10,000本の植樹を実施する予定です。

当財団は、今後も被災地復興の植樹をはじめとする環境活動に、積極的に取り組んでまいります。

#### 記

|             |                                |      |         |
|-------------|--------------------------------|------|---------|
| 日時          | 2023年9月23日（土・秋分の日） 10:00～12:00 |      |         |
| 場所          | 石巻南浜津波復興祈念公園                   |      |         |
| 本数          | 5,000本                         |      |         |
| 参加者         | 500名                           |      |         |
| 面積          | 1ヘクタール                         |      |         |
| 樹種          | アカマツ・ヤマツツジ・ヤマハギ・ムラサキシキブなど16種   |      |         |
| 主催          | 公益財団法人イオン環境財団                  |      |         |
| 共催          | 宮城県、石巻市、石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会   |      |         |
| 後援          | 国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所        |      |         |
| 出席者<br>(予定) | 国土交通省 東北地方整備局東北国営公園事務所         | 所長   | 澤田 大介 様 |
|             | 宮城県 土木部                        | 副部長  | 舩谷 成幸 様 |
|             | 石巻市                            | 市長   | 齋藤 正美 様 |
|             | 石巻南浜津波復興祈念公園参加型運営協議会           | 会長   | 黒澤 健一 様 |
|             | 公益財団法人イオン環境財団                  | 専務理事 | 山本 百合子  |

## ご参考

### 【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。

以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に、活動に取り組んでおります。今後は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組みます。

### 【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。

当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、1991年のスタートから数えて約1,255万本（2023年2月末時点）となります。

#### 【東北における植樹】

##### ■秋田県下浜海岸（2005年～2009年）

酸性雨や松食い虫の被害にあい、大部分が立ち枯れ状態にあった秋田県の日本海沿岸の松林を再生するため、5年間でボランティアの皆さま4,300名とともに、エゾアカマツなど42,250本を植えました。2007年の植樹には、当財団の15周年記念式典にてご講演いただいたノーベル平和賞受賞者であり、元ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイ氏にもご参加いただきました。

##### ■山形県南陽市（2010年～2012年）

松くい虫被害などで荒れた森林を再生させるため、2010年から3年間でボランティアの皆さま1,000名とともにケヤキ、モミジなど5,100本を植えました。

##### ■宮城県石巻市上釜ふれあい広場（2012年）

東日本大震災で津波被害を受けた上釜ふれあい広場にて、1,600名のボランティアの皆さまとともに、タブ、シラカシ、ツツジなど地域に自生する苗木15,000本を植えました。

##### ■宮城県亶理町（2016年～2018年）

東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指して宮城県が推進する「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」に賛同し、2016年から3年間でボランティアの皆さま3,100名とともに、クロマツ、コナラ、ヤマザクラなど44,500本を植えました。

##### ■福島県いわき市（2017年）

福島県いわき市と締結した「森林づくりに関する協定」に基づき東日本大震災により流失した防災海岸林ならびに沿岸部の再生を目的に700名のボランティアの皆さまとともに、クロマツ、ヤマザクラ、トベラなど7,000本を植えました。

##### ■「第69回全国植樹祭ふくしま2018」（2018年）

2018年6月10日（日）に、福島県南相馬市にて開催された「第69回全国植樹祭 ふくしま2018」に対し、当財団ならびに公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、苗木の提供や会場運営などの協賛・協力を行いました。

#### 【「イオン 心をつなぐプロジェクト」】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、東日本大震災の被災地の復興・創生に向けた活動として2012年に発足し、2021年に10年間の活動を終了しました。お客さまとともに取り組む植樹やボランティアなど、復興・創生にむけてさまざまな活動を行い、植樹については10年間に319,897本を植えました。「石巻復興の森植樹祭」には第1回（2017年）から参加しました。